

管理所レビュー VOL.09

(R1.8.21 水源林管理所)

今年度の第9回となるボランティア活動が、7月26日(金)に予定どおり実施されました。

当日は、雲が多いながらも安定した晴れの天気となり、気温も25度程度となったため、久しぶりの間伐日和となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

道志村では、梅雨明け後の8月上旬に真夏日が数日続き、お盆の時期には、西日本に上陸した台風10号の影響により、遠く離れていたにもかかわらず、降水量が270mmを超えました。いずれも珍しい現象です。今後も今までにない気象現象が起こる可能性がありますので、注意していきましょう！

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 70名のご参加、ありがとうございました！



夏らしい雲が広がっています。



道具の準備もしっかりと！



今日も安全作業をお願いします。

2 当日の作業の様子。



始まりの会で体調確認。



かかり木発生！安全な処理を！



こちらでもかかり木、気を付けて！

3 ハチに注意！

8月下旬ごろから11月上旬ごろまでは、ハチに注意が必要です。特に、強い毒を持つキイロスズメバチは巣作りの最盛期をむかえるため、攻撃性が高くなり大変危険です。

また、クロスズメバチは小型で目立ちにくく、巣を地中に作るため、人が気付かずに巣に近づいてしまい、被害に合うケースが多くあります。

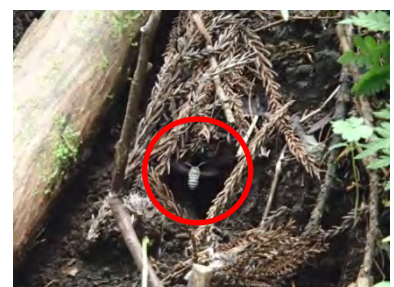
作業中や移動中などは、周囲にハチがいないか注意し、発見した場合は、周囲の人への報告を行い、その場から静かに立ち去りましょう。

万が一刺された場合は、毒を抜くことが重要です。「ポイズンリムーバー」が救急箱に入っていますのでご利用ください。

また、アナフィラキシーショックが起こる可能性もありますので、必ず水道局職員へ連絡をしてください。



強い毒をもつキイロスズメバチ。



巣に帰ってきたクロスズメバチ。

4 「著しい傾き木の伐倒」は要注意！

著しい傾き木は、追い口切りの途中で急に倒れ始めたり、木が裂けたりする事があるため、大変危険です。次の点に注意して作業してください。

① 伐倒方向は、重心のかかっている方向を避ける。

※ 重心線方向（傾きの方向）へ倒すと、倒れる速度が速くなり、危険です。重心線から左右どちらかへ30度程度ずらせた方向への伐倒がベストです。

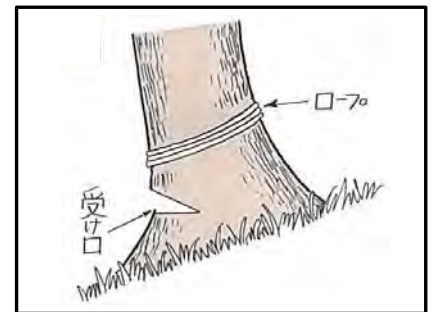
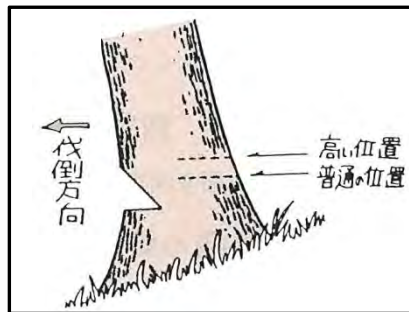
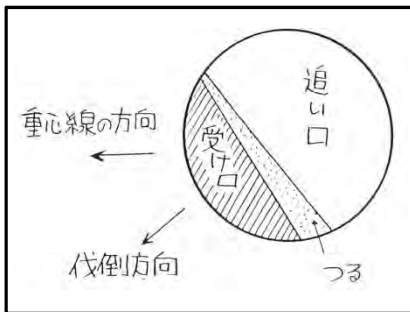
② 受け口は、やや大きめに切る。

※ 予定の伐倒方向に確実に倒すため、受け口はやや大きめに切る。

③ 追い口の高さは、通常的位置より高くする。

※ 追い口切りは、立木の様子をうかがいながら慎重に切る。

④ 裂けを防ぐために、追い口の上部をロープで強く巻いておく。



伐倒方向は重心線としない。受け口は大きめ、追い口切りの位置は高め。ロープを強く巻いておく。

「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

5 再確認！かかり木の安全な処理方法。

今回の活動でも、伐倒木がかかり木になってしまったケースが多く見られました。

かかり木の処理は、伐倒作業の中で最も危険な作業です。

かかり木となってしまった場合は、安全な場所からかかり具合をよく観察し、安全で適切な方法で処理してください。

◆かかり木の安全な処理方法（例）

例1 木廻しベルトを使用する。

木廻しベルトは、かかり木処理専用の道具です。

※木回しのセッティング方法は事前に確認しておいてください。

例2 ロープを伐倒時とは別の方向から引くなどして、かかり木をはずす。

この方法は、かかり木から離れた場所でロープを引く事ができるので、安全にかかり木をはずす事ができます。

※滑車からロープをはずす時などは、かかり木が落ちてくる可能性があります。インストラクターは、十分注意してください。



木廻しベルト
セッティングの様子

6 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、株式会社ヨロズ様から1名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

ご参加、ありがとうございました。



株式会社ヨロズ様。
(掲載許可済み)

※ 次回の活動は、宿泊活動となりますので、準備を整えてご参加ください。

※ 8月23日（金）は、曇りのち雨、最高気温28度、降水確率50%。

※ 8月24日（土）は、晴れのち曇り、最高気温29度、降水確率50%の予報となっています。

★それでは8月23日、気をつけてお越しください。